

団体名：特定非営利活動法人フードバンク八王子えがお

助成額：99,999 円、助成回数：3 回

【「未来につなぐ募金」助成事業活動の目的】

八王子市においても相対的貧困の拡大が深刻な問題となっています。わたしたちの身近にも低所得や失業、離婚等の理由で食に窮する状況にある市民が少なからず存在しており、また誰でもそのような状況におちいる可能性があります。フードバンクは経済的困難を根本的に解決することはできませんが、側面的な手助けにはなり得ます。『フードバンク八王子えがお』は、暮らしに困難を抱えた人々の SOS を受け止め、励ます存在でありたいです。一方、食に窮する方に「お互いさま」と心を寄せてくれる方々もいます。その想いを活かし、地域で支える食のセーフティネットとして、『フードバンク八王子えがお』がその機能を果たしたいです。市内には 10 ヶ所以上の「子ども食堂」「誰でも食堂」が存在し、児童養護施設等の福祉施設も多数あります。これらの団体や施設にも食品を提供して応援します。食品ロス削減の啓蒙をはかり、フードバンクシステムを整えることで、社会資源として活用できるようにしたいです。いたわり合い、支えあいの気風を醸成し、子どもも大人も安心して、心豊かに暮らせる地域づくりを目指したいです。

【「未来につなぐ募金」助成事業活動のまとめ】

フードバンクに託される食品は、フードドライブで寄贈された食品や企業・商店等からの食品ロスが主であり、食品の種類についても量の多少についても予想が立ちません。一方支援先（受取り先）は生活者であり、米などの主食になるもの、主菜になるもの、副菜になるもの、調味料や菓子等が必要であり、需要と供給のバランスに苦慮する実態があります。そのため、不足がちな食品については寄付金で購入していますが十分賄えていない課題があります。今年度「未来につなぐ募金」助成を受けて、課題であった不足がちな食品を東都生協の商品（食品）をいただく形で受取り先に届けることができ非常に助かりました。加えて食品そのものが良質なものをいただけるので、たいへん有難いことでした。受取り先の方々へ持続可能な支援を行う視点を考えるならば、健康の維持・増進が図られる食品の提供が望ましいと考えますが、そうした点からもこの助成制度は最適であり、今後ますますの発展を期待します。



11月分
受取先へ
お渡し食品の
セット
2人分



11月分
受取先へ
お渡し食品の
セット
1人分



11月分
八王子市生活自主
支援課
お渡し食品の
セット



11月分
八王子市生活自主
支援課
お渡し食品の
セット

東都生協『未来につなぐ募金』助成を受けて

2019年1月30日

いいね! 0 シェア 0 G+

「えがお」は、2018年度に東都生協『未来につなぐ募金』助成を受けました。

これは、組合員の方々にOCRで募金を呼びかけ、それを原資にしてフードバンクや子ども食堂に助成を行う制度です。2018年度は東京都・神奈川県で全14団体がこの助成を受けました。子ども食堂・多世代食堂・学習支援をおこなっている団体が13団体、フードバンクは「えがお」1団体となっています。この『未来につなぐ募金』が普通の助成と異なる点は、お金ではなく、主に東都生協の商品（食品）を助成してくださる点です。

フードバンクに寄せられる食品は、個人からのおすそわけ食品や、企業や商店のまだ食べられる食品を託していただくので、どのような食品がどのくらい寄せられるのかわかりません。ときに主菜となる缶詰やレトルト食品、あるいは菓子類が不足がちになることがあります。

下記の写真は、3回に分けていただいた助成食品です。

東都生協『未来につなぐ募金』とは

この募金は、組合員一人ひとりの想いを寄せ合い集めた募金を、東都生協の取り扱う商品に換えて、フードバンクや子ども食堂など、地域で貧困問題の解決に取り組む活動（団体）に助成するしくみです。どんな環境にあっても、誰もが将来に希望を持ち、健康やかに生活できる社会をつくっていくために、東都生協は、組合員と地域の協同の力で、食に困る人々のいのちとくらしを守り、誰もが健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献していきます。（東都生協 HP より）

なっている団体が13団体、フードバンクは「えがお」1団体となっています。この『未来につなぐ募金』が普通の助成

この募金は、組合員一人ひとりの想いを寄

2019/3/1

えがおのブログ-フードバンク八王子えがお



この助成によって、東都生協で扱っている良質な食品をお届けすることができ、食に不安を抱える方々にとても喜ばれました。想いを寄せてくださった東都生協の組合員の皆さまに心より御礼申し上げます。今後ともフードバンクの活動にあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

